

Plate XVIII. "Sapporo Yellow" (1970). Histological changes on irradiated bulb. Photograms of median longitudinal section through growing point and young leaves ylf<sub>1</sub>-ylf<sub>5</sub>. 1. Dosage 15,0000 rad. one month after irradiation. 2. Dosage 7,000 rad. three months after irradiation.

Plate XIX. "Sapporo Yellow" (1969, 1970). Photograms of highly magnified growing point changed by irradiation. 1-3. Irradiated growing point of stages in development corresponding to 1-3 of control and 4 corresponding to 5 in Pl. XVII. 1. One month after irradiation. 2-4. Three months after irradiation. (1, 3. Dosage 15,000 rad. 2, 4. Dosage 7,000 rad.)

□ C. A. Luer: **The native orchids of Florida** A4版 293 pp., 84 col. pls. 1972. The New York Botanical Garden. \$ 25.00。米国フロリダ州に自生するラン科植物の全種類を豊富なカラー写真と生品による記述を中心にまとめた豪華本である。著者の本業は医者であるが1957年以来ランにとりつかれ多くの困難を冒してランを求めて歩き廻り、本書はその労苦の結晶である。英国で印刷されニューヨーク植物園から出版された。初めに序文とラン科全体の解説があり属への検索表がつけられ、属毎に章をあらためて45属が記述され種への検索表がある。百数種がふくまれ、日本産と関連の深い種もあり、*Platanthera*などでは新組合せも発表されている。各種毎にカラー写真と記載、花の線画、生育状態、分布図が記されている。何よりも大形のカラーペーパーが素晴らしい、生育の現状、全形、花序、花、根茎などを色々の角度からとった数枚の写真が組み合わされている。大きさを示すために人物や指が写しこまれているのが一寸目ざわりな気もする。どこでも開発が進むにつれ特にラン科植物はますます稀少になりつつあり、本書はきわめて貴重な資料として今後の研究に役立つであろう。

(原 寛)

□ 源豊宗・北村四郎解説 **花木真寫** 295ページ、125図版 淡交社 48,000円 1973年8月。三巻の巻物であるのをやや縮めて印刷、各図に対して北村四郎氏が解説、終りに同氏のまとめた「植物学的解説」14頁、源豊宗、美術史より見たる「花木真寫」8頁、それに年譜、目次を添える。1725(享保10年)頃の作と思われるが、リンネに先立つ時点においてこの瀬刺たる筆致は驚嘆に値する。たとえばオドリコソウの精緻、アーチィチョークの瀬刺をみれば、一目でわかる。江戸時代、ことに応挙による近世写実主義が到来する前の一しきり盛り上がった写実主義への契機を受けとることができる。印刷はよいし、解説も「総記」を引用しながら述られており、ことに序説をみると、北村四郎氏が出版にかけた悲願は並々ではないことがよく知れる。このような稀観書の複製がなされるとは、日本は今どき、珍らしい国であると自賛している次第である。

(前川文夫)